

子育てをもっと楽しく！ママのための日本語サロン 活動報告⑨ 「子どもの健康づくり③ ～丈夫な歯を育てよう～」

日時：平成 27 年 12 月 21 日（月）10:00～12:00

場所：刈谷市中央子育て支援センター

外部講師：中村和子氏（歯科衛生士、はねっと代表）

日本語講師：岡部真理子氏

参加者数：【学習者】8名（中国4名、インドネシア1名、フィリピン2名、タイ1名）

【日本語パートナー】7名

【通訳】1名（タガログ語）

託児スタッフ：2名（ママハウス）

<活動内容>

1. 自己紹介

- 自己紹介シートを互いに見せながら、グループで自己紹介

2. ウォーミングアップ

- 子どもの歯について、「気をつけていること」や「知りたいこと」を各自で付箋紙に書く
- グループで共有
- 全体で共有

【知りたいこと】

- ・口の掃除の仕方
- ・歯磨き粉やデンタルフロスを使用して良いか
- ・歯ブラシはいつから使う？
- ・歯に良い、悪い食べ物
- ・嫌がらずに歯磨きをするには？

3. 丈夫な歯の育て方について

- 中村氏より、①子供の歯（歯磨き・虫歯）、②健康な口の育て方についてのお話

4. ふりかえりシート、覚えたい言葉シート、ポートフォリオ

- 日本語パートナーとともに本日の活動をふりかえり、それぞれのシート（資料1～3参照）に記入
- 学習者が本日の活動を通して「わかったこと」、「疑問点」を発表

【わかったこと】

- ・歯磨きのタイミング
- ・虫歯菌の性格
- ・食習慣が大切
- ・食後30分や食べない
- ・唾液の力
- ・ママと同じ箸を使っても大丈夫

【難しかったこと・疑問点】

- ・専門用語
- ・フッ素塗装はフィリピンにはない
- ・お菓子はどのようなものが良いか

- 外部講師より学習者から出た「疑問点」について回答

5. 全員で記念撮影



<参加者の感想、疑問点、わかったこと>

【学習者】

- ・歯磨きをしっかり始めるタイミングがわかった
- ・食習慣に気をつけなくてはいけないことがわかった
- ・専門用語が難しかった
- ・どのように子どもの虫歯を予防するかわかった
- ・歯にやさしい食べ物やダメな食べ物、飲み物がわかった
- ・フッ化物のことが難しかった
- ・歯みがき習慣より食事習慣が大事です
- ・唾液とフッ素で虫歯を予防できることがわかりました
- ・最初の歯は弱いけど、唾液があるから大丈夫
- ・食べ物をあげる時間が大事
- ・プラークはバイ菌のうんち、酸はバイ菌のおしっこ
- ・30分間何も食べないと虫歯の予防につながる
- ・お母さんと同じもの（箸など）を使っても大丈夫
- ・唾液をたくさん出したほうが良い

【日本語パートナー】

- ・みんなで情報を分かち合える点がとても良かった。
- ・どのお母さんも悩みは一緒だと思った。
- ・友達が出来て良かった。
- ・文化の違いや言葉の違いもある人が頑張っているのだから、日本人の私も頑張ろうと思った。

